



# JOURNALIST CAFE

ジャーナリストカフェ  新潟

## メディアの 役割と責任

### ジャーナリストって？

難しく考えることはありません。  
どんなテーマでも構わないのです。  
「おかしい」「もっと知りたい」。  
そんな心の声からスタートし、  
取材によって真相に迫るのが  
ジャーナリズムです。  
フェイクニュースがあふれる今だからこそ、  
大事な仕事。  
第一線で活躍するプロフェッショナルが  
本音を語る集いを開きます。



新潟大学向け

2025年 5月10日(土)

午後1時～4時30分  
※受付開始：午後0時30分

会場：新潟大学 五十嵐キャンパス

中央図書館内ライブラリーホール(新潟市西区五十嵐2の町8050)

対象：ジャーナリスト・メディア業界を目指す学生・生徒  
メディアに興味のある人

定員：200人(先着順)

駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。

### ■プログラム

<1> 大越健介による基調講演と登壇者によるテーマトーク

大越健介・テレビ朝日「報道ステーション」キャスター  
熊田安伸・SlowNews シニアコンテンツプロデューサー  
有田司・共同通信社編集局長  
江森美奈子・新潟日報社編集局報道部記者

<2> パネルディスカッション+来場者セッション

4氏+益田高成・新潟大学法学部准教授

◆主催：新潟日报社 ◆特別協力：新潟大学 ◆協力：カナリア舎

参加費  
無料



▲テレビ朝日「報道ステーション」キャスター  
大越健介

参加方法は裏面をご覧ください



2025年5月10日 新潟市で開催

## ■大越健介 メッセージ

「時代を記録する人になりませんか？」という呼びかけと共に昨年、新潟で誕生したのが「ジャーナリストカフェ」です。以来、各地で回数を重ね、ジャーナリズムを志す学生たちの背中を押す役割も果たしてきました。

一方でこの1年、時代は急激に変化し、偽情報の氾濫で、一国の指導者ですら虚構の論理に踊らされる現実が生まれています。

真実の見極めが難しくなる中、取材によって確かな事実を積み上げ、真摯に「時代を記録する」ジャーナリストの役割は増えています。その理想と課題を、新潟ゆかりのプロフェッショナルたちと一緒に考えてみませんか。

### < 略歴 >

1961年新潟県生まれ。1985年NHK入局。政治記者として橋本政権や小渕政権を取材。ワシントン支局長の時には、ブッシュ大統領の単独インタビューや“オバマブーム”を生んだ2008年の大統領選取材を指揮した。20年以上の記者経験を生かし『ニュースウォッチ9』『NHKスペシャル』『サンデースポーツ2020』でキャスターを務める。21年6月に同局退職。

21年10月よりテレビ朝日『報道ステーション』キャスター。

「行動するキャスター」を自任し、ロシアの軍事侵攻が始まったウクライナなど現場に自ら足を運び、「平たい言葉」で伝えることを信条としている。

## ■パネリスト略歴



**熊田 安伸** (くまだ・やすのぶ)  
SlowNews シニアコンテンツプロデューサー

1967年生まれ。岐阜県出身。1990年NHK入局。沖縄局、報道局社会部で「公金」の調査報道、新潟局、仙台局で震災報道を指揮。2017年「政治マガジン」「取材ノート」などを開発運営。2021年SlowNewsに移籍。Nスペ「追跡 復興予算19兆円」でギャラクシー大賞など。著書に「記者のためのオープンデータハンドブック」。



**有田 司** (ありた・つかさ)  
共同通信社編集局長

1968年生まれ。新潟県出身。1992年共同通信社入社。徳島支局、広島支局を経て、ロシア・サンクトペテルブルク大留学を経て金融証券部。2000年モスクワ支局に赴任し、アフガニスタン戦争、イラク戦争などを取材した。政治部、ワシントン支局次長、編集局外信部長、編集局次長などを経て2025年1月から現職。専門は国際情勢。



**益田 高成** (ますだ・たかなり)  
新潟大学法学部准教授

1994年、兵庫県生まれ。政治学博士(同志社大学)。同志社大学法学部政治学科卒業、同大学大学院法学研究科博士課程修了。同志社大学法学部助教を経て、2022年4月より新潟大学法学部准教授。専門は政治過程論、選挙制度論、現代日本政治。



**江森 美奈子** (えもり・みなこ)  
新潟日報社編集局報道部記者

1977年長岡市(旧和島村)出身。新潟大大学院人文科学研究科修了。2004年新潟日報社入社。メディア情報部(当時)、佐渡支局(当時)、本社報道部、統合営業本部統合推進センターなどを経て、24年4月から本社報道部。現在は、海や川の環境変化などを踏まえ、恵みを次世代にどうつなぐのかを考える長期企画「碧(あお)のシグナル」を担当している。

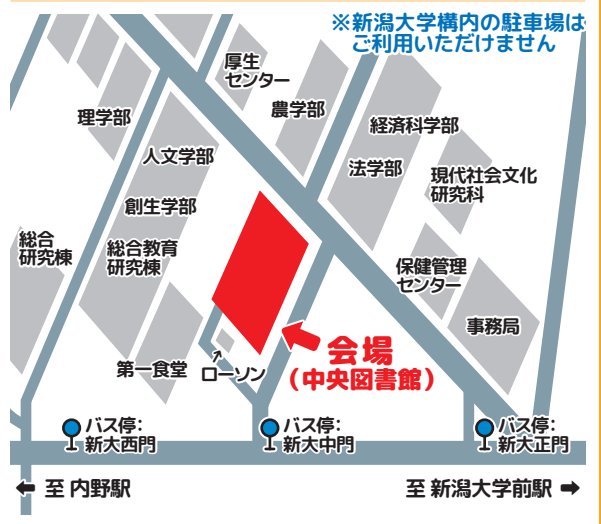
## 参加者募集

参加希望者は、右のQRから応募フォームに入り、氏名、年齢、所属(中学・高校・大学など)あるいは職業、居住地(都道府県)、電話番号、メールアドレスを記入してください。定員に達し次第、締め切ります。



お申し込みはこちら

## 会場マップ



## お問い合わせ

ジャーナリストカフェin新潟 事務局  
電話:025-385-7153  
(平日 午前10時 ~ 午後5時)